
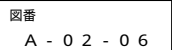
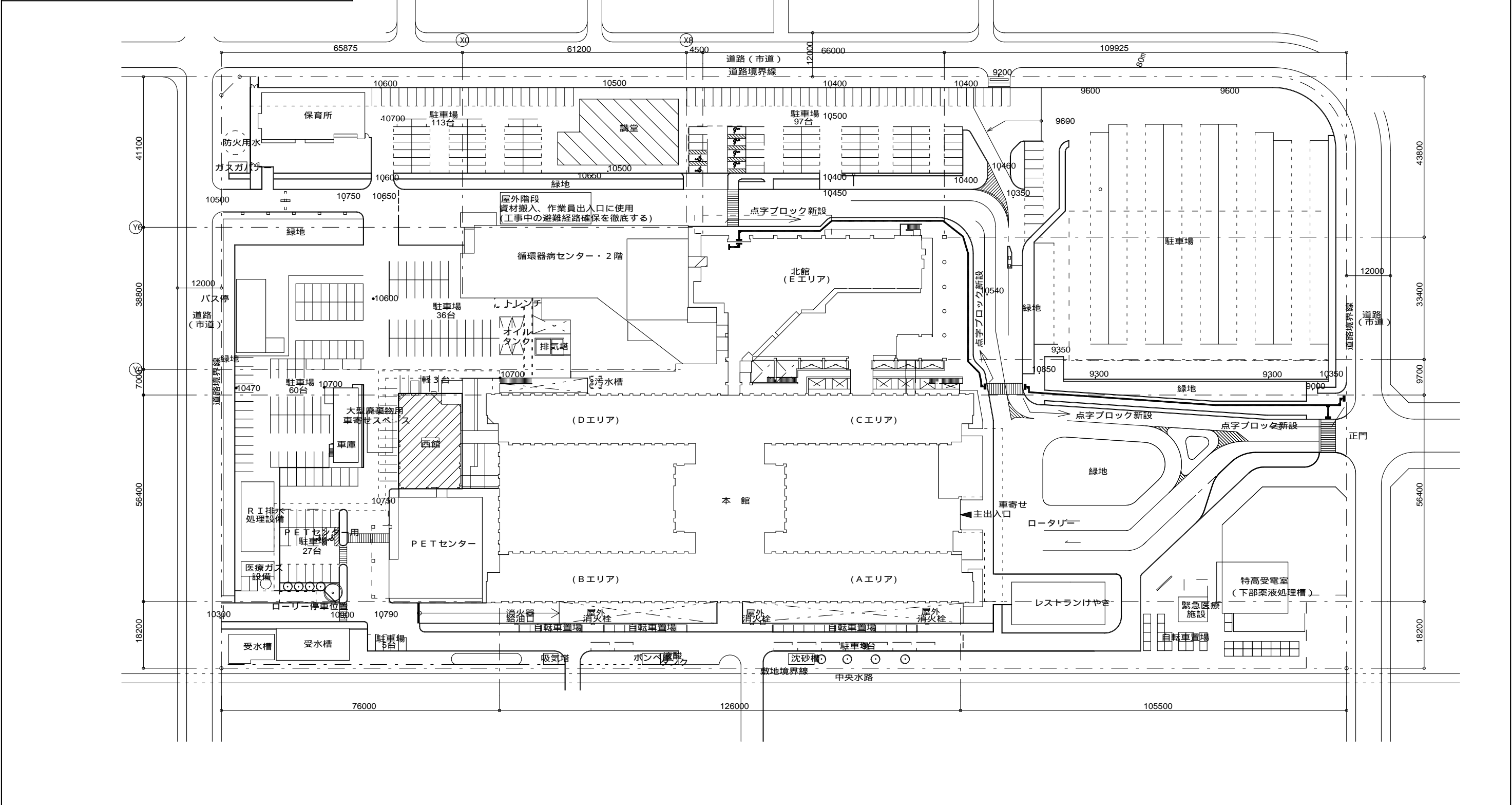
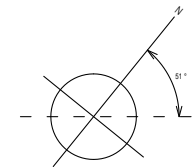


# 平成26年度 静岡県立総合病院西館サ - バ - 室改修工事

区 分	番 号	図 面 内 容	縮 尺
建 築 A	A - 0 1 - 0 6	表紙・図面リスト	NO SCALE
	A - 0 2 - 0 6	案内図・配置図	1/750
	A - 0 3 - 0 6	建築工事特記仕様書 1	NO SCALE
	A - 0 4 - 0 6	建築工事特記仕様書 2	NO SCALE
	A - 0 5 - 0 6	改修前 3 階平面図・天井伏図・建具表	1/100
	A - 0 6 - 0 6	改修後 3 階平面図・天井伏図・建具表 サーバーラック免震装置鉄骨架台詳細図（参考図）	1/100 1/10
機 械 M	M - 0 1 - 0 9	機械設備工事特記仕様書 1	NO SCALE
	M - 0 2 - 0 9	機械設備工事特記仕様書 2	NO SCALE
	M - 0 3 - 0 9	施工条件特記仕様書	NO SCALE
	M - 0 4 - 0 9	撤去空調機器表(空調設備)	NO SCALE
	M - 0 5 - 0 9	新設空調機器表(空調設備)	NO SCALE
	M - 0 6 - 0 9	改修前 3 階平面図(空調設備)	1/100
	M - 0 7 - 0 9	改修後 3 階平面図(空調設備)	1/100
	M - 0 8 - 0 9	改修後 R 階平面図(空調設備)	1/100
	M - 0 9 - 0 9	改修後 R 階平面図(空調設備)	1/100
電 気 E	E - 0 1 - 0 9	電気設備工事特記仕様書 1	NO SCALE
	E - 0 2 - 0 9	電気設備工事特記仕様書 2	NO SCALE
	E - 0 3 - 0 9	分電盤結線図 照明器具姿図	NO SCALE
	E - 0 4 - 0 9	改修後 3 階平面図(電灯設備)	1/100
	E - 0 5 - 0 9	改修後 3 階平面図(動力設備)	1/100
	E - 0 6 - 0 9	改修後 R 階平面図(動力設備)	1/100
	E - 0 7 - 0 9	既存撤去 3 階平面図(電灯設備)	1/100
	E - 0 8 - 0 9	既存撤去 3 階平面図(動力設備)	1/100
	E - 0 9 - 0 9	既存撤去 R 階平面図(動力設備)	1/100

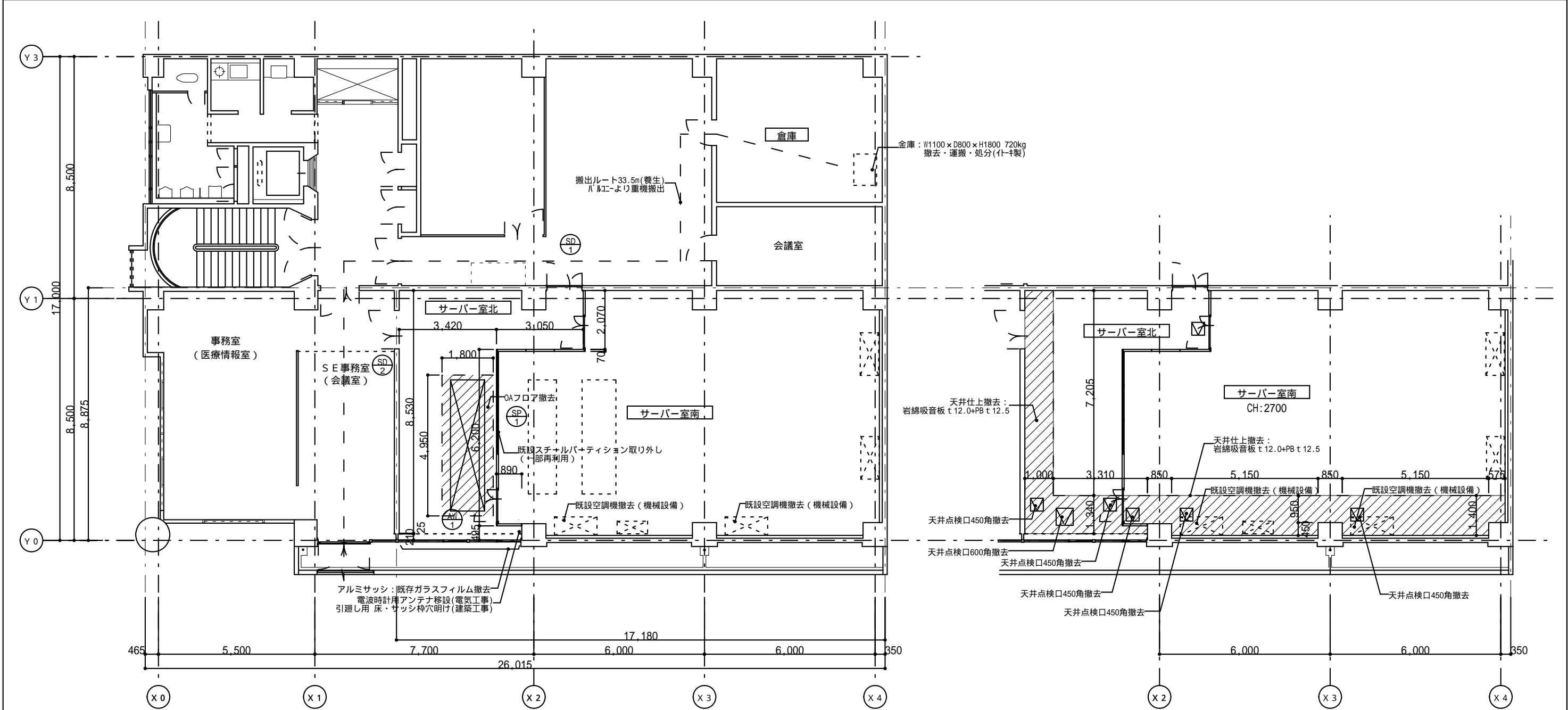
案 内 図

 改修建物



---



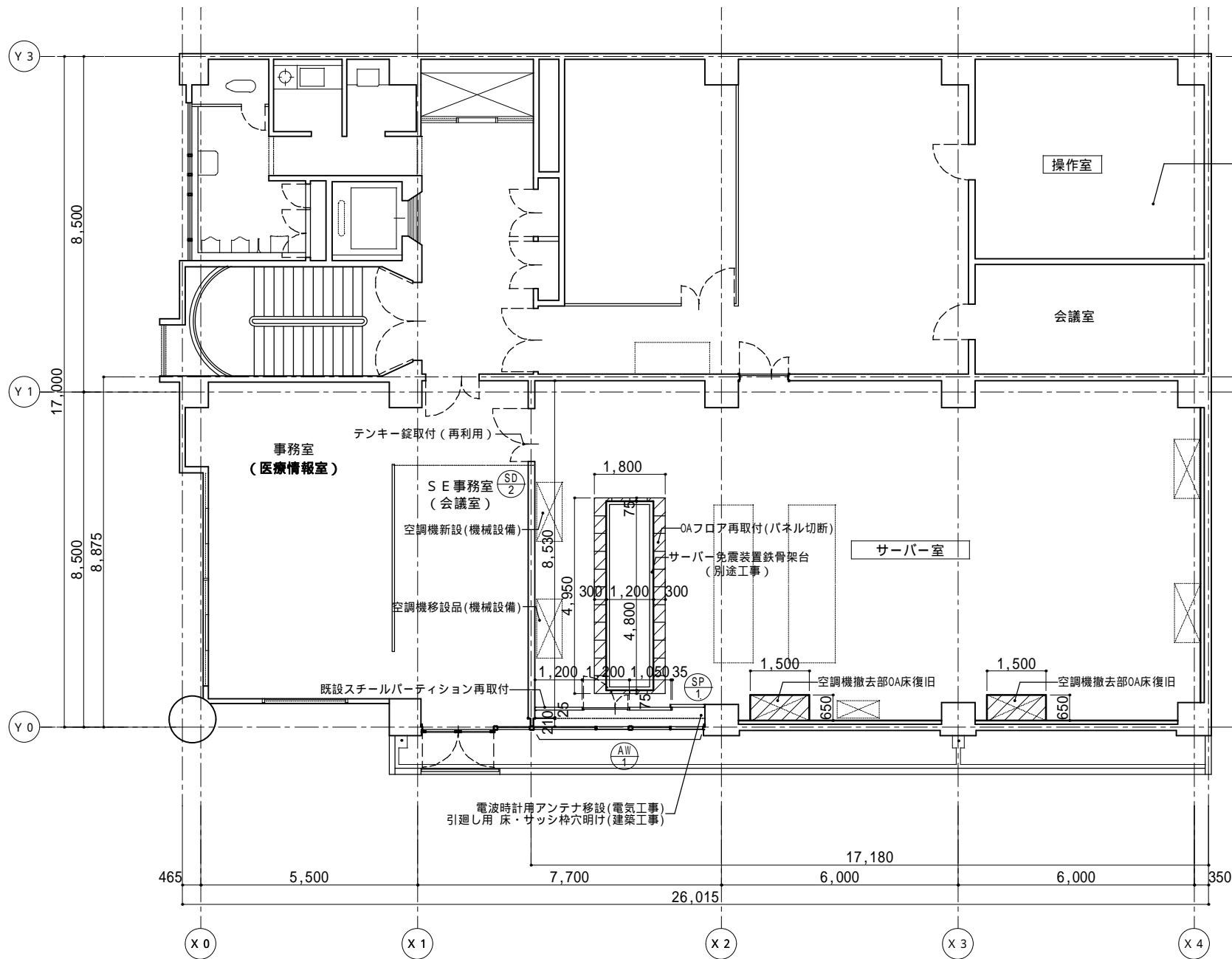


3階平面図（改修前）

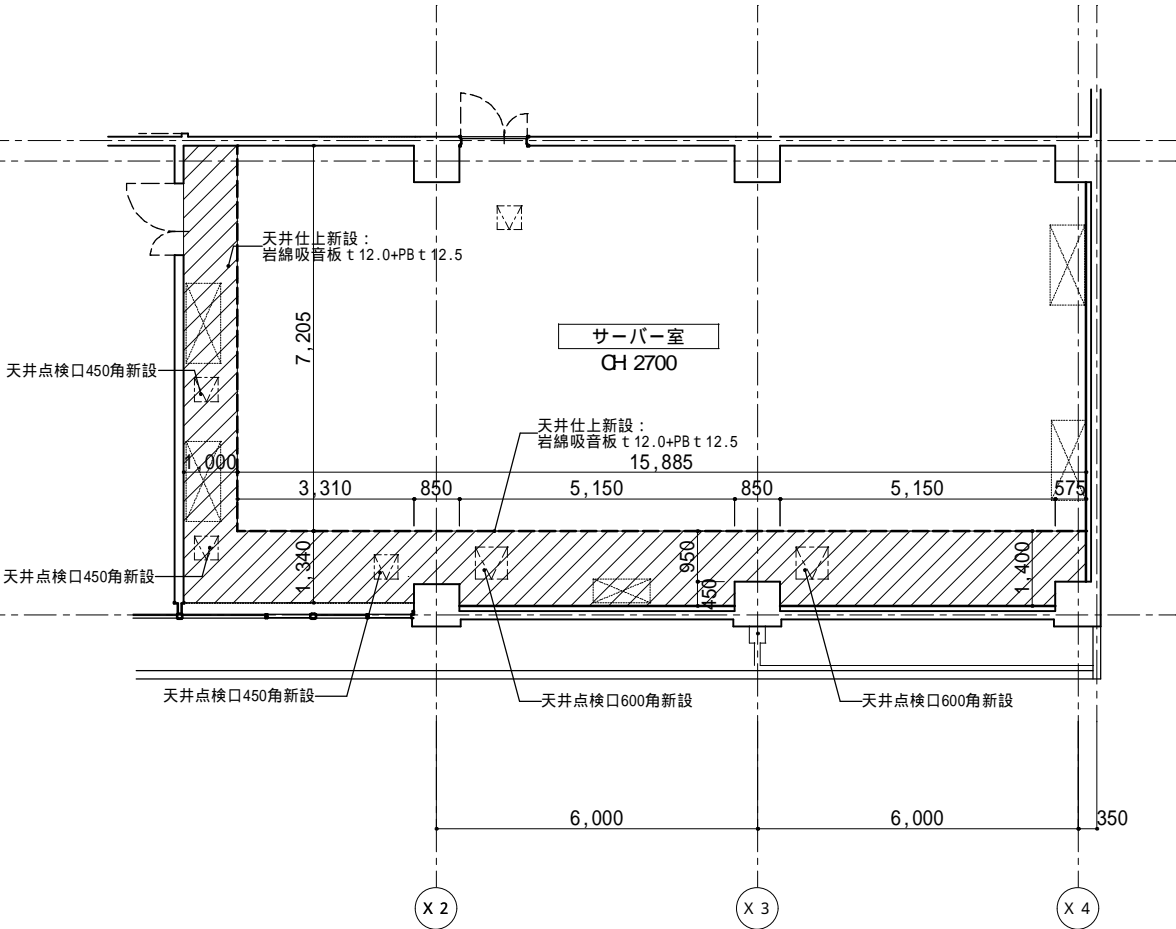
天井伏図（改修前）

仕上の仕様及び厚み等に関しては調査の上既存に合わせる

記号・仕様・数量	<div>AW1</div> 外倒し排煙窓+片引き(隠框)連窓アルミサッシ1	<div>SP1</div> スチールパーティション1	<div>SD1</div> スチールドア1	<div>SD2</div> スチールドア1	<div>(工事内容)</div> <div><div>・サ - パ - 室北部分の改修工事を先行して施工。</div><div>・サ - パ - 室北部分施工完了後サ - パ - 室南部分の改修工事を行う、工事中はコンピュ - タ - の養生を充分行う事。</div><div>・各工事充分打合せを行い監督員に指示を受ける事。</div><div>・施工前に監督員と充分協議しその支持に従う事。</div></div>		
仕上・見込	アルミ (シルバー)70	スチール焼付塗装70					
ガラス	フロートガラス t6.0 (既存ガラスフィルム撤去)	フロートガラス t6.0					
金物	標準金物一式・排煙オペレーター	標準金物一式 ガラリ : 770×370 3ヶ所	レバーハンドル取外し				
備考	オペレーターは既存利用とする	一部再利用 (斜線部は撤去処分)					
<div><div><div><div>有限会社</div><div>アドイン設計</div><div>代表取締役三ツ井幹雄</div></div><div><div>〒420-0961 静岡県葵区北 四丁目 17番 1号</div><div>TEL 054 248-3011 FAX 054 248-6006</div></div></div><div><div>承認</div><div>設計</div><div>設計</div><div>担当</div><div>担当</div><div>三ツ井</div><div>村松</div><div>三ツ井</div><div>村松</div></div></div>			<div>工事名称</div> <div>平成26年度 静岡県立総合病院西館サ - パ - 室改修工事</div>		<div>図面名称</div> <div>改修前 3階平面図・天井伏図・建具表</div>	<div>縮尺 1/100</div> <div>設計 平成 26 年 3 月</div>	<div>図番</div> <div>A - 05 - 06</div>



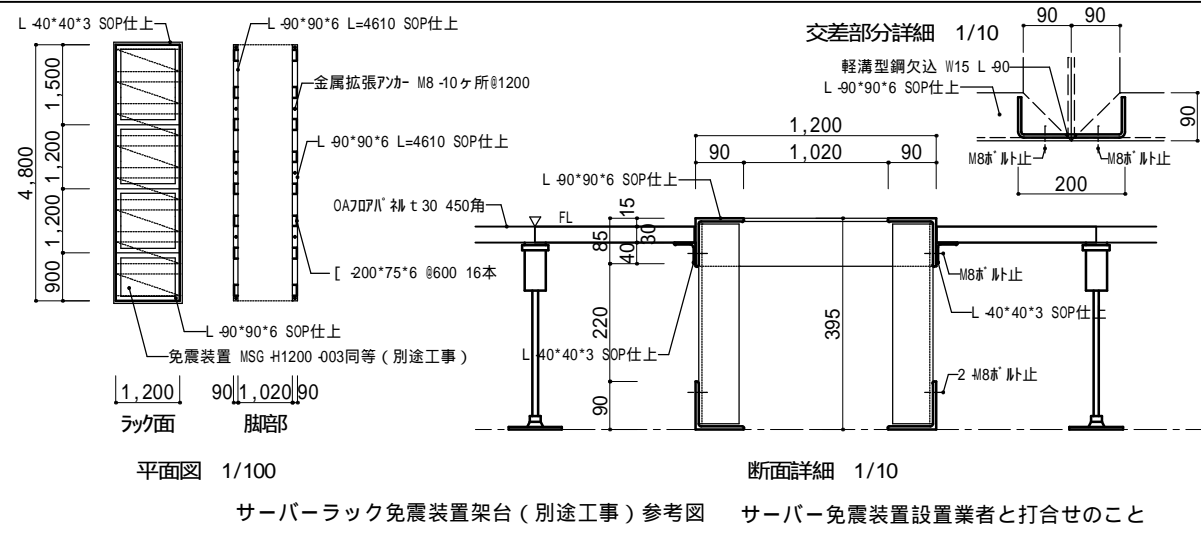
3階平面図( 改修後)



天井伏図( 改修後)

仕上の仕様及び厚み等に関しては調査の上既存に合わせる

記号・仕様・数量	AW1 外倒し排煙窓+片引き(隠框)連窓アルミサッシ 1	SP1 スチールパーティション 1	SD1 スチールドア 1	SD2 スチールドア 1
仕上・見込	- 70	スチール焼付塗装 70		
ガラス	断熱ガラスフィルム貼り：3M V50不透明 程度	-		
金物	-	標準金物一式	テンキー取付( 新設)	テンキー取付( 再利用)
備考	-	ガラリ：770×370 3ヶ所	KEYLEX 2100同等	



サーバーラック免震装置架台( 別途工事) 参考図      サーバー免震装置設置業者と打合せのこと

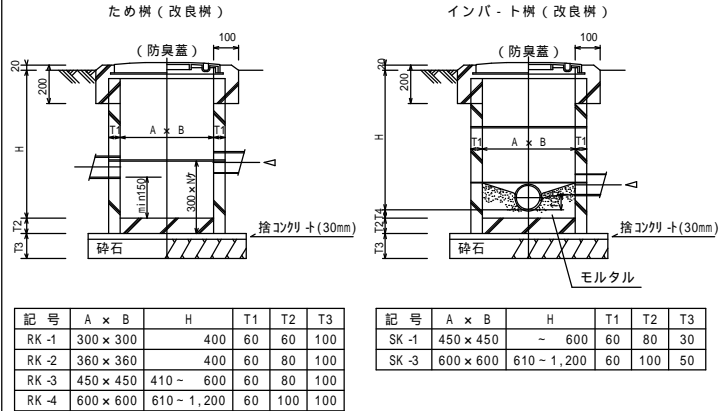




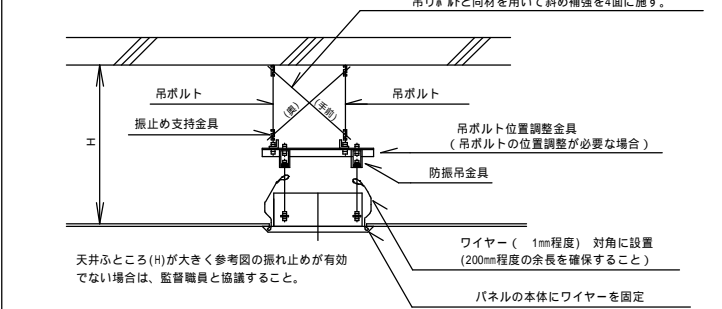
機械設備工事特記仕様書 2

浄化槽設備	1 処理方式	合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による ・ 建設省告示第1292号による。第( ) ( ) 方式)
	2 処理能力	処理対象人員 人 処理水量 m <sup>3</sup> /日
	3 本体構造	・ コンクリート製 ・ F R P 製
	4 放流水質	BOD ppm 以下
	5 配管材料	・ 一般配管用ステンレス鋼管 ( ) ・ 耐熱性硬質塩化ビニル管 ( ) ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ( ) ・ ・ ・
	6 土留め工法	
	7 報告	3ヶ月間(月2回)点検を行い、完了後に報告書(点検記録、水質検査の結果)を提出すること。 なお水質検査は、生物化学的酸素要求量( BOD )、水素イオン濃度( pH )浮遊物質( SS )、大腸菌数( 最確数法 )について実施する。
さく井設備	1 種別	・ 浅井戸 ・ 深井戸
	2 掘削方式	・ ロータリ式 ・ バカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式
	3 ケーシング	配管用炭素鋼鋼管(黒) ・
	4 ストレナ	ステンレス製巻線型 ・
	5 電気検層	連続測定 ・ スポット測定
	6 水質検査	行う(原水全項目) ・ 行わない
撤去工事	1 冷媒(フロン系)の回収及び破壊	無 ・ 有 ( 1 ) 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律(フロン回収破壊法)」に従って行うこと。 また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。 (ア) 第一種フロン類回収業者登録通知書の写し (イ) フロン類の最終処理に関する証明書 ( 2 ) 行程管理票の様式は、監督員の指示による。 ( 3 ) 家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル(フロン類の回収を含む。)を行ない、監督員に次の書類を提出する。 (ア) 特定家庭用機器廃棄物管理票(家電リサイクル券)の写し 無 ・ 有
	2 吸収冷凍機、吸収冷温水機等の臭化リチウム水溶液等	関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。

<改良槽標準図



<空調屋内機パネル落下防止参考図>



別表

名	称
配管類	・ 給水管 ・ 排水管 ・ 冷温水管 ・ 冷煤管 ・
弁類	・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ・ 逆止弁 ・ 緊急遮断弁
ポンプ類	・ 給水用ポンプ ・ 空調用ポンプ ・ 消火ポンプ ・ ・
タンク類	・ 受水槽 ・ 高架水槽 ・ 貯溜槽 ・ 膨張水槽
空気調和設備工用機材	・ パッケージエアコン ・ 空気調和機( AHU ) ・ 冷却塔 ・ ヘッダー ・
自動制御機器類	・ 中央監視盤 ・ リモート盤 ・ ・
給排水衛生設備工用機材	・ 衛生器具 ・ 水栓 ・ 組立てマンホール ・ ・
浄化槽	・ F R P 浄化槽 ・ 動力盤、制御盤 ・ ブロー ・ ・
さく井	・ スクリーン ・ ・ ・ ・
その他	・ スリーブ( つば付鋼管 ) ・ ・ ・

表のうち選択する事項は、○ 印の付いたものを適用する。  
○ 印のない場合は、 印を適用する。

そ の 他

1 ) ステンレス材を酸洗いした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。



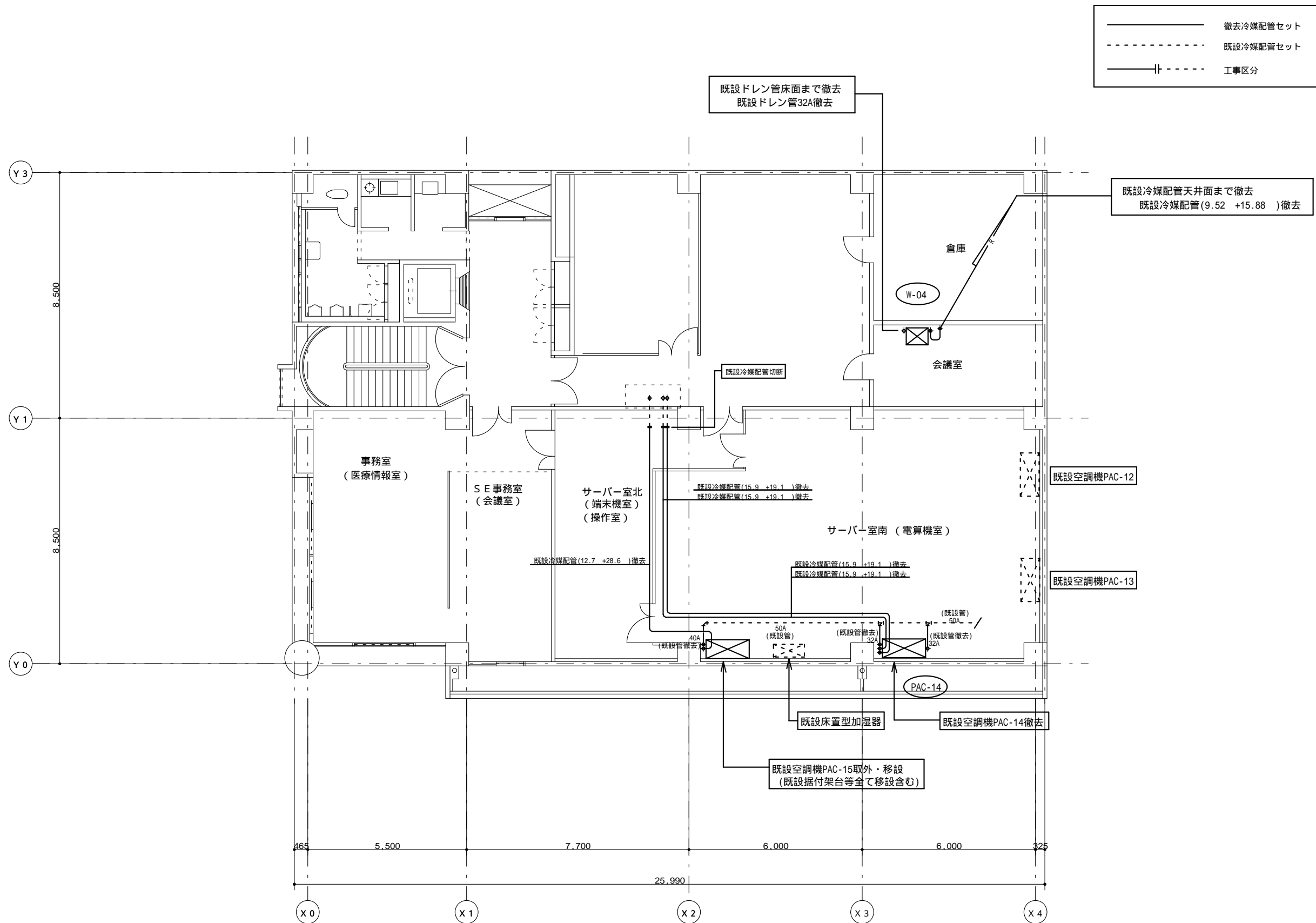
施工条件特記仕様書						6 仮設備関係	明示項目	適用項目	明示が必要な場合	明示事項	内容																	
下記項目のうち適用項目　印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。							1 仮設備 （仮土留、仮橋、足場等）		仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の内容																		
										仮設備の期間																		
										仮設備の条件																		
1 工程関係	1 関連工事との調整		他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分						仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合	仮設備の種類	工事特記仕様書、図示による。																
				影響を受ける工事内容							仮設備の構造、施工方法、施工範囲	図示による。																
				関連する工事内容																								
				関連する工事の開始又は完了の時期							設計条件の内容	図示による。																
	2 施工時期、時間の制限		施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容	既設配管接続					建設発生土の搬出	建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離	工事特記仕様書による。															
				制限される施工時期・施工時間							処分又は保管条件	工事特記仕様書による。																
				制限される施工方法																								
	3 関係機関等との協議		当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容						建設副産物及び建設廃棄物の処理	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。															
				協議内容							再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合	受入場所、距離等の処理条件	建設廃棄物の種類	数量	処理等施設の名称	片道運搬距離	受入条件等											
				協議成立見込時期																								
				影響を受ける部分																								
	影響を受ける内容																											
	4 地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査		工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目						工事支障物件協議	地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等	支障物件名		管理者名		支障物件の位置											
				調査期間																								
				地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間								支障物件の移設時期		工事方法		防護											
	5 作業不能日数			休日日数以外の作業不能日数						地上、地下等の占用物件に係る工事期間と重複して施工する場合	工事内容																	
	6 指定部分		工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）							工事期間																	
2 用地関係	1 仮用地等として官有地の提供		施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲						9 排水関係	1 排水処理		排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等	排水工法		排水処理の方法		放流先									
				時間・時期																								
				使用条件											予定される排水量		排水の水質基準		放流費用									
				復旧方法																								
3 公害関係	1 公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）		工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間	低騒音型、低振動型建設機械の指定に関する規定及び排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定される建設機械・設備を使用するものとする。					2 水替・流入防止施設		水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容															
				設置期間									設置期間															
	2 騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分						10 薬液注入関係	1 薬液注入		薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等	設計条件		施工工法		材料種類									
				調査時期																								
				未然に防止するための必要な調査方法											施工範囲		削孔数量及び延長		注入量及び注入圧									
				未然に防止するための必要な調査範囲																								
3 電波障害等に起因する事業損失防止調査		電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分						周辺環境に与える影響の調査が必要な場合		周辺環境調査の内容																	
			調査時期																									
			未然に防止するための必要な調査方法																									
			未然に防止するための必要な調査範囲																									
4 安全対策関係	1 交通安全施設		交通安全施設等を指定する場合	指定の内容						工事現場発成品	工事現場発成品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所	工事特記仕様書による。															
				指定の期間																								
	2 近接施工		鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法						支給品及び貸与品	支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質 規格又は性能 引渡場所・引渡期間																
				制限される作業時間帯																								
	3 落石、雪崩、土砂崩落の防護施設		落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容						工事用水、電力	工事用水を指定する場合	工事用水の内容	工事特記仕様書による。															
	4 交通誘導員の配置		交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数	交通誘導員 A							交通誘導員 B			工事電力の内容	工事特記仕様書による。												
				配置時間	交通誘導員 A		8時～17時まで（8時間）				交通誘導員 B	8時～17時まで（8時間）		新技術・新工法・特許工法	新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容												
	5 有毒ガス及び酸素欠乏等の対策		有毒ガス及び酸素欠乏対策として、換気設備が必要な場合	換気設備等の内容						7 部分使用	部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所																
5 工事用道路関係	1 一般道の使用		搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路																								
				制限される使用期間																								
				制限される使用時間帯																								
	2 仮道路		仮道路を設置する場合	使用中・使用後の処置内容																								
				仮設道路の仕様																								
				安全施設等の設置期間																								
				工事終了後の措置																								

徹去空調機器表

機器品番	機器名称	設置場所	種 別	機 器 仕 様	台数	電 気 仕 様							備 考
						項目	電圧 V	相	容量 KW	運転電流 A	極数 P	起動	
PAC - 14	空冷パッケージエアコン （電算機用）	サ - バ - 室		屋 外 機 （既設自動制御機器,配線一時取り外し再取付）	1		200	3					
				冷 房 能 力 4 0 . 0 KW		送風機			1.9x2				
				屋外側熱交換器 クロスフィンコイル式									
				送風機（プロペラファン式） 1 . 9 x 2 KW									
				風 量 （ 1 7 5 + 1 7 5 ） CMM									
				保護装置・容量制御・始動制御・冷媒制御・附属品一式									
				屋 内 機 床 置 型 (既設自動制御機器,配線一時取り外し再取付)	1	圧縮機			11.0				
				冷 房 能 力 4 0 . 0 KW		送風機			3.70				
				圧縮機（全密閉スクロ - ル式） ( 5 . 5 + 5 . 5 ) KW									
				始 動 方 式 直入始動（インバ - タ - 方式）									
				屋内側熱交換器 クロスフィンコイル式									
				送風機（シロッコファン式） 3 . 7 KW									
				風 量 2 4 0 CMM									
				機 外 静 圧 1 0 0 Pa									
W - 04	空冷ヒートポンプ パッケージエアコン	会 議 室		屋 外 機 冷 房 能 力 5 . 0 KW 暖 房 能 力 6 . 3 KW	1		200	3					
						送風機			0.06				
				屋 内 機 床 置 型									
				冷 房 能 力 5 . 0 KW 暖 房 能 力 6 . 3 KW	1	圧縮機			1.60				
						送風機			0.048				

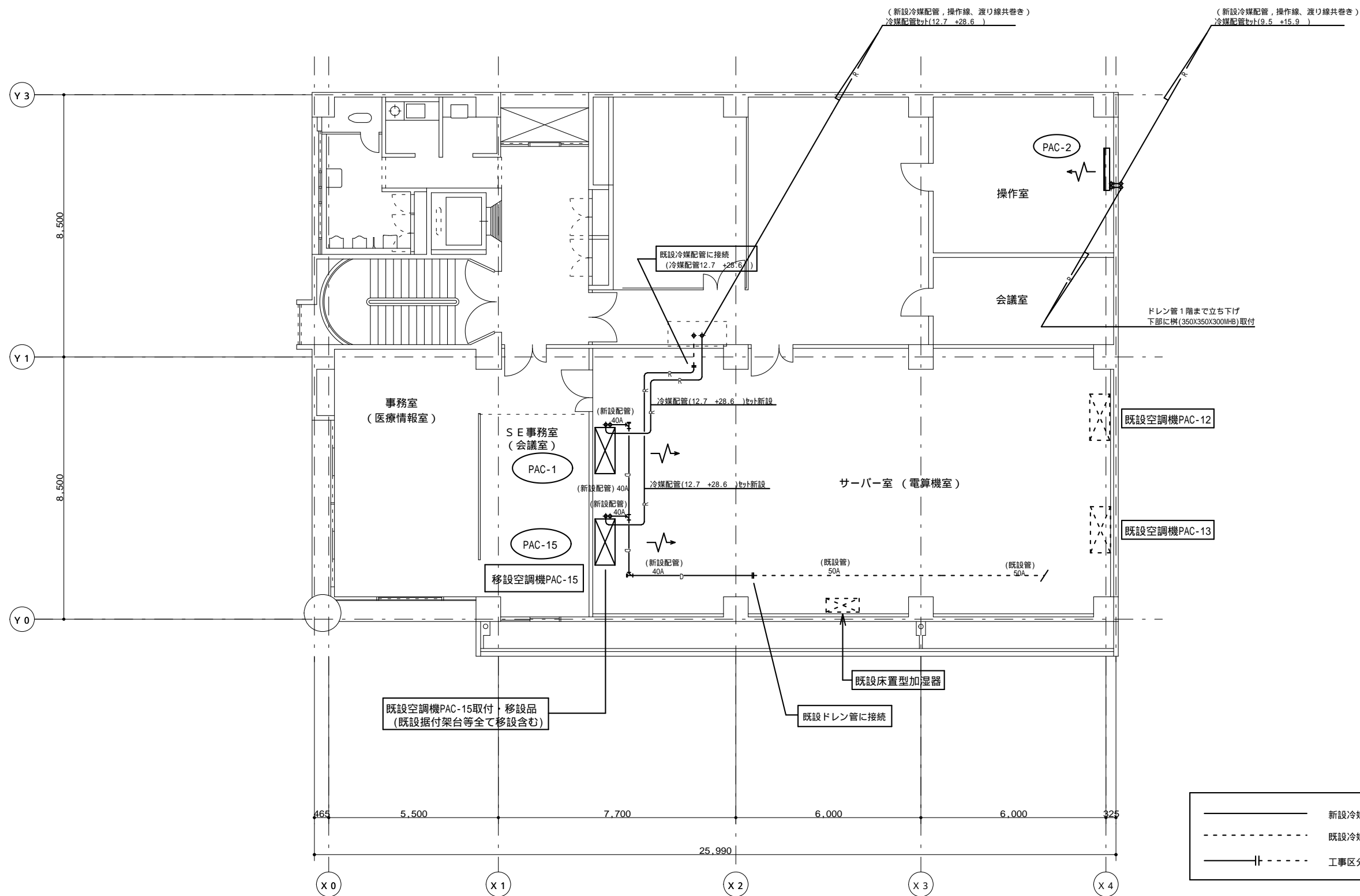
新設空調機器表

機器品番	機器名称	設置場所	種 別	機 器 仕 様	台数	電 気 仕 様							備 考
						項目	電圧 V	相	容量 KW	運転電流 A	極数 P	起動	
				パッケージエアコン式 共通仕様									
				特記なき限り下記仕様による									
				型 式 シングル型 能 力 表 示 J I S条件時									
				仕 様 メーカー標準仕様 フィルター性能 メーカー標準仕様									
				電 源 区 分 1次、2次側電源（屋外機供給 3 200V）は、電気工事にて供給。									
				屋内・屋外機間渡り線（電源線・操作線）は、冷媒管共巻きとする。									
				付 属 品 屋外機：防振架台,分岐管共									
				屋内機：防振吊金物,ドレンアップメカ,分岐管共									
P A C - 1	空冷パッケージエアコン （電算機用）	サ - パ - 室		屋 外 機 （既設自動制御機器,配線再使用し、制御内容も既設に合わす）	1		200	3				直 入	既設架台使用
	DSVP400MA改造タイプ			冷 房 能 力 4 0 . 0 K W									
				圧縮機（全密閉スクロ - ル式）（ 1 . 5+4 . 5 ）+（ 1 . 5+4 . 5 ） K W		圧縮機			12.0				
				始 動 方 式 直入始動（インパ - タ - 方式）		送風機			0.75x2				
				屋外側熱交換器 クロスフィンコイル式									
				送風機（プロペラファン式） 0 . 7 5 x 2 K W									
				風 量 （ 1 7 5 + 1 7 5 ） C M M									
				保護装置・容量制御・始動制御・冷媒制御・附属品一式									
				屋 内 機 床 置 型 （既設自動制御機器,配線再使用し、制御内容も既設に合わす）	1	送風機	200	3	3.70			直 入	据付架台本工事
				冷 房 能 力 4 0 . 0 K W									
				始 動 方 式 直入始動（ベルト掛け駆動方式									
				屋内側熱交換器 クロスフィンコイル式									
				送風機（シロッコファン式） 3 . 7 K W									
				風 量 2 4 0 C M M									
				機 外 静 圧 1 0 0 P a									
P A C - 2	空冷ヒートポンプ	操 作 室		屋 外 機 冷 房 能 力 7 . 1 K W 暖 房 能 力 8 . 0 K W	1		200	1					据付架台本工事
	パッケージエアコン					圧縮機			1.60				
						送風機			0.06				
				屋 内 機 壁 掛 型									
				冷 房 能 力 7 . 1 K W 暖 房 能 力 8 . 0 K W	1	送風機	200	1	0.048				



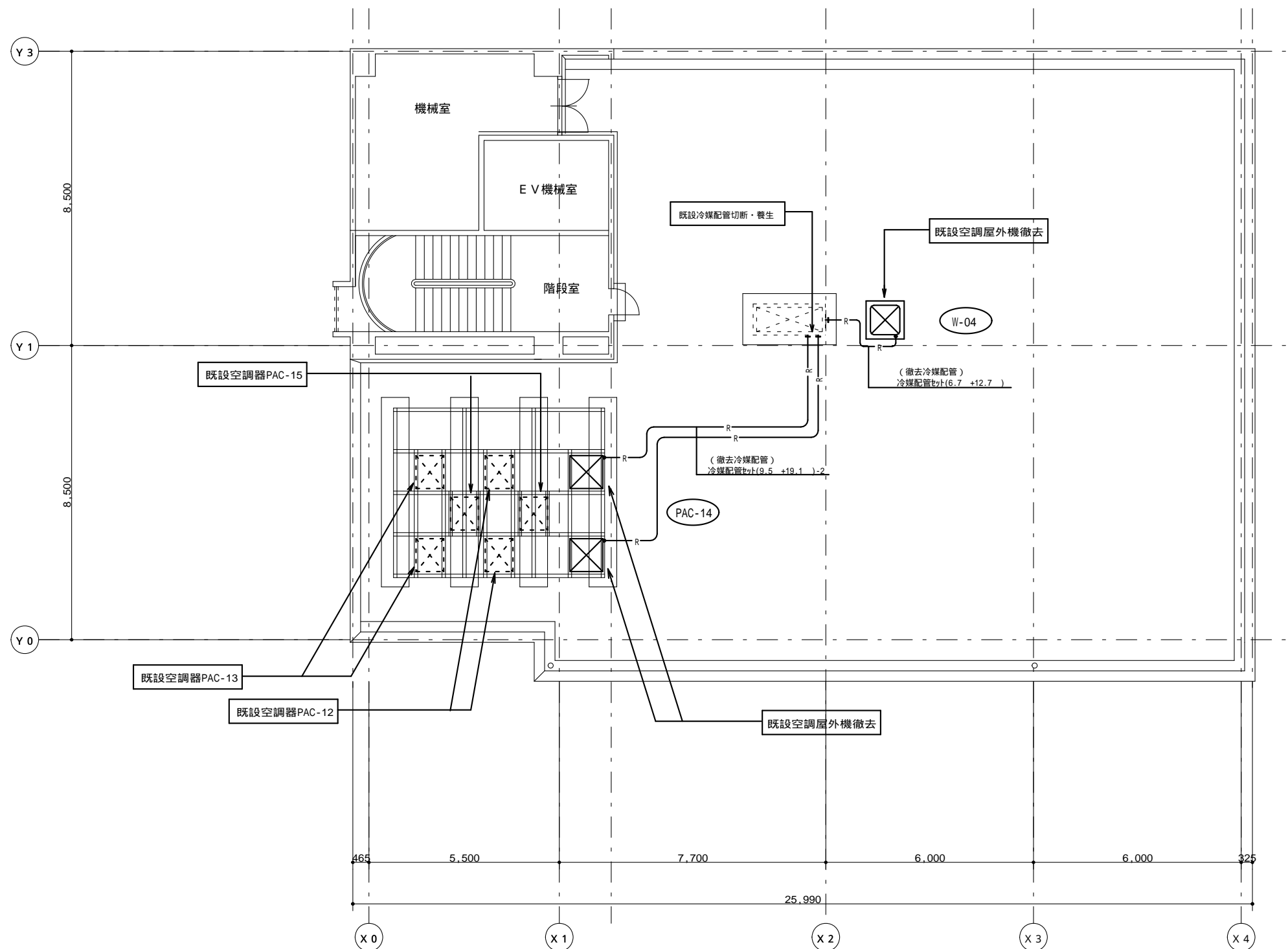
改修前 3 階平面図

S=1:100



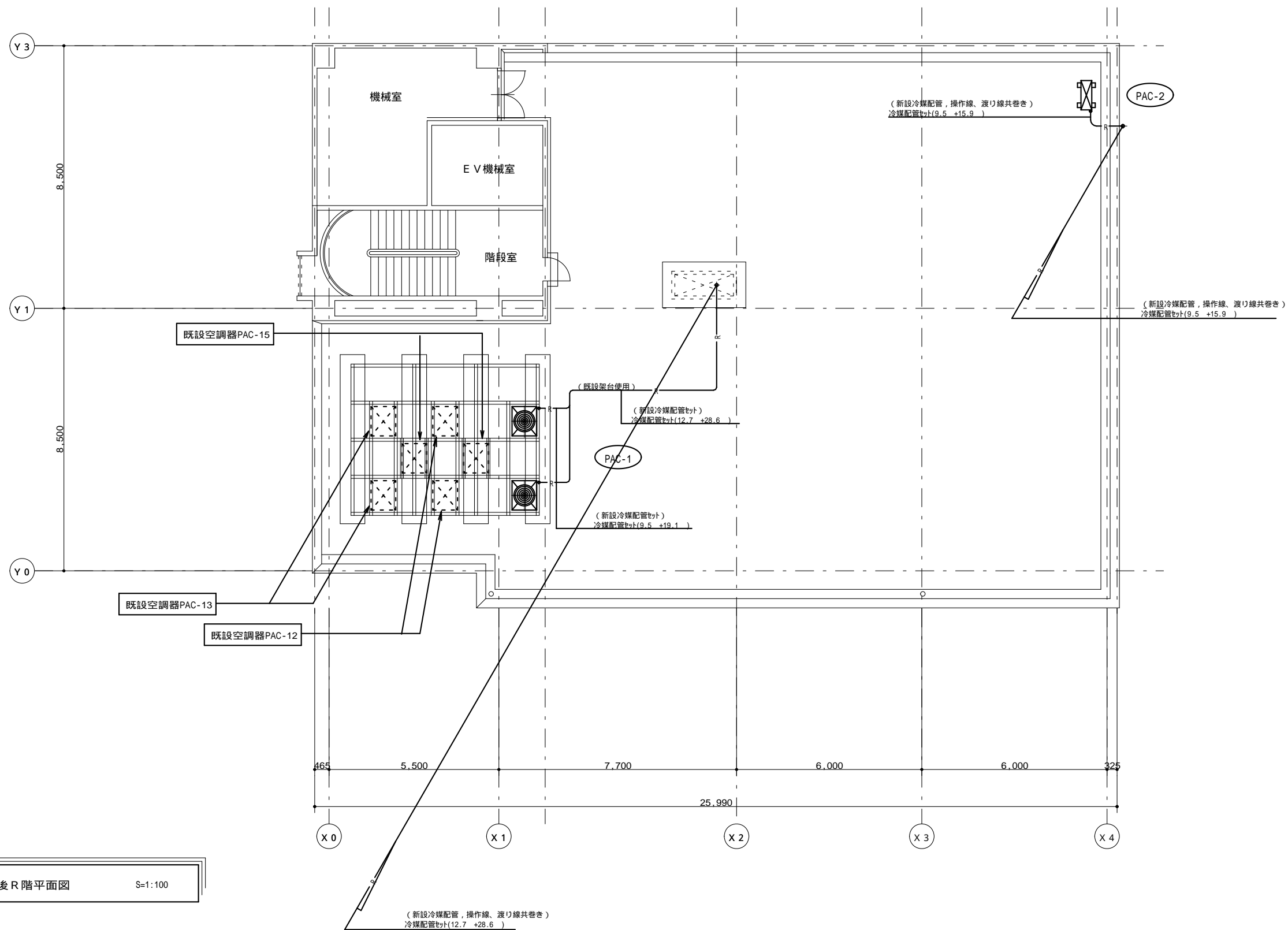
改修後 3 階平面図 S=1:100

(注) PAC-15移設に伴う自動制御は既設取外し再取付とする  
PAC-1新設に伴う自動制御は既設PAC-14の自動制御を取外し再利用とする  
上記改修に伴う自動制御改修及び調整も本工事とする。  
又上記改修に伴う既設フリ - アクセツの調整も本工事とする。



改修前 R 階平面図

S=1:100







## 電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

防災設備工事

- |            |  |
|------------|--|
| 1 自動火災報知設備 | (1) 受信機<br>・ R型      ・ P型 (      ) 級 (      ) 回路<br>予備電源付 ( ・ 壁掛形      ・ 自立形 )<br>複合盤の場合は図示する。<br>(2) 耐受信機      表示窓数 (      ) 窓 ( ・ 壁掛形      ・ 自立形 )<br>(3) 発信機      ・ R型      ・ P型 (      ) 級 (      ) 形<br>(4) 機器収納箱      ・ 埋込形      ・ 露出形      ・ 消火栓箱組込形<br>(5) 消火栓ポンプ始動用表示灯      ・ 専用      火報と兼用 |
| 2 自動閉鎖装置   | (1) 連動制御器 (      ) 回路 (複合盤の場合は図示する。)<br>(2) 動作仕様 (      で囲むもの )<br>ア 動作方式      ・ 多回順次動作      ・ 単独動作<br>イ 防煙ダンパ      ・ 手動復帰      ・ 遠方復帰   |
| 3 非常警報設備   | (1) 非常警報装置      ・ 埋込形      ・ 露出形<br>(2) 起動装置 (押しボタン)      ・ 埋込形      ・ 露出形   |
| 4 ガス漏れ警報設備 | (1) 受信機      回路      予備電源付 ( ・ 壁掛形      ・ 自立形 )<br>複合盤の場合は図示する。<br>(2) 検知器      ・ 都市ガス      ・ 液化ガス<br>電 源      ・ AC100V      ・ DC24V<br>(3) 中継器      確認表示灯      ・ あり      ・ なし (      で囲むもの )  |

別表

名 称

○ 配電盤、分電盤、制御盤、警報盤等

- ・ 電熱装置
- ・ 高圧機器類
- ・ 特別高圧機器類
- ・ 直流電源装置
- ・ 交流無停電電源装置（UPS）
- ・ ディーゼル発電装置
- ・ ガスエンジン発電装置
- ・ マイクロスタービン発電装置
- ・ 燃料電池発電装置
- ・ 熱供給発電装置
- ・ 太陽光発電装置
- ・ 風力発電装置
- ・ 構内情報通信網装置
- ・ 構内交換装置
- ・ 情報表示装置
- ・ 映像・音響装置
- ・ 誘導支援装置
- ・ テレビ共同受信設備
- ・ 監視カメラ装置
- ・ 駐車場管制装置
- ・ 防犯・入退室管理装置
- ・ 監視制御装置
- ・
- ・

表のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用する。

表 1 接地極一覽表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地電位の規格・数値
・ 共同 接地	E-A・B・C・D		E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・組
・ 共同 接地	E-A・C・D	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・組
・ A 種	E-A	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・2組
・ B 種	E-B		E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・組
・ B 種	E-B	37.5-75 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=30)×3連・組
・ C 種	E-C	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・2組
・ C 種	E-C	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・組
・ D 種	E-D	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.0又はW=40)×1
・ 電保護用	E-LA	以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)× 連・組 又はE <sub>B</sub> ×2
・ 高圧避雷器	E-H	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・2組
・ 低圧避雷器	E-L	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・2組
・ 文地線用	E-L	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・組
・ 通信線用	E-L	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.4又はW=40)×3連・2組
・ 通信機用	E-DL	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.0又はW=30)×1
・ 測定用	E-G	1.0 以下	E <sub>B</sub> (D=1.0又はW=30)×1
・ 構造接地		以下	
・ 機位接地		以下	

注) EBでD = 1.4の場合はL = 1500とし、W = 4.0の場合はL = 1200、W = 3.0の場合はL = 900とする。

表 2 機器標準取付高さ

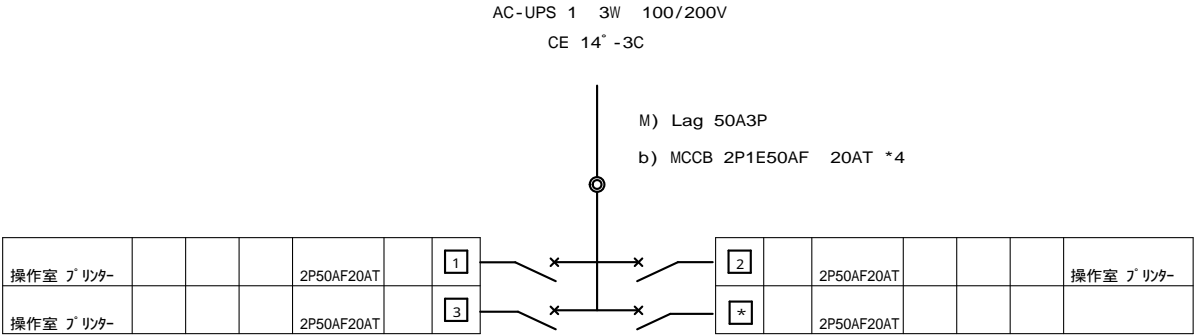
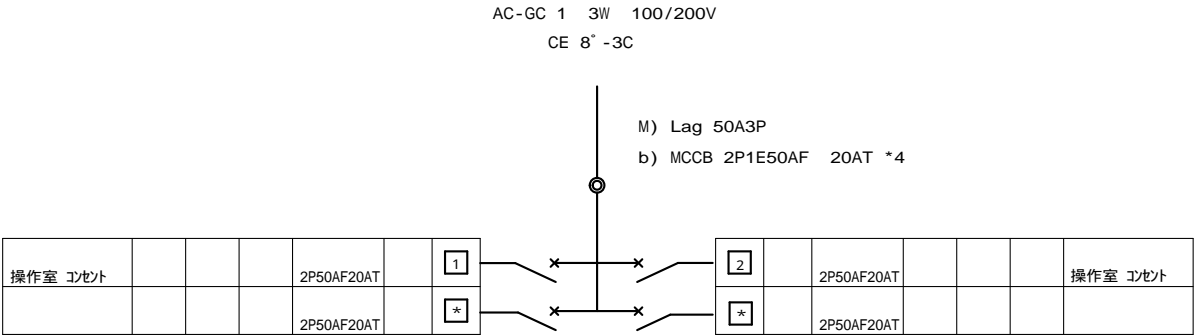
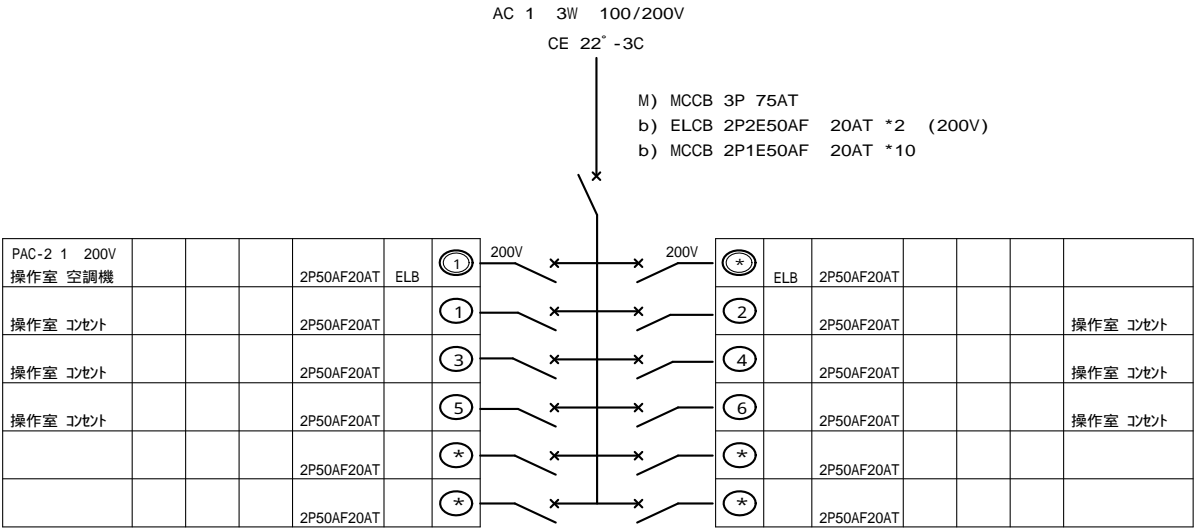
名	格	測 定	取得高さ (mm)	名	格	測 定	取得高さ (mm)
取付引掛器	地上・中心	1,800 ~ 2,000	表示器	床土・中心	天井高×0.9		
引込閉鎖器	地上・中心	1,800 ~ 2,200	感圧床係器	床土・中心	1,100		
			ハ・ト・フ・サ・タ・ヤ	床土・中心	2,300		
			取付柱上(和・一般)	床土・中心	1,100		
分電盤	床土・中心	1,500					
		(上端1,900以下)					
スイッチ	床土・中心	1,100	感付インターホン	床土・中心	1,100		
人感式自動切替24ヶ	床土・中心	1,800	感付7ヶ列箱(一般)	床土・中心	400		
知	床土・中心	400	感付7ヶ列箱(和室)	床土・中心	200		
【一般】	床土・中心	200	押し出し・ト付引出用)	床土・中心	800又は400		
【和室】	地上・中心	150 ~ 200	消音器	床土・中心	1,800		
【台上】	地上・中心	500					
【上端】	地上・中心	800	テレビ受信箱	天井下・上端	200		
【外壁・屋外】	地上・中心	2,100 ~ 2,300	真列ユニット(一般)	床土・中心	400		
【一般】	地上・中心	2,000 ~ 2,500	真列ユニット(和室)	床土・中心	200		
【地上】	地上・中心	150					
【端上】	地上・中心	1,500					
		(上端1,900以下)					
壁掛け制御盤	床土・中心	1,500	受信器・副受信器	床土・中心	800 ~ 1,500		
		(上端1,900以下)	受信器・副受信器	床土・中心	800 ~ 1,500		
手元開閉器	床土・中心	1,500	表示器	床土・中心	2,300		
操作スイッチ	床土・中心	1,300	相変換器	床土・中心	2,100		
室内用遮断器	床土・上端	300	LPガス用検知器	床土・上端	300		
組合保安装置	天井下・上端	400					
電 灯 (一般)	床土・中心	400					
アウ ト (和室)	床土・中心	200					
レシ ョ							
		(上端1,900以下)					
取付分岐箱	床土・中心	天井高×0.9					
日時計	床土・中心	天井高×0.9					
監視形スピーカ	床土・中心	天井高×0.9					
取付アツチネータ	床土・中心	1,100					

注)

1. 天井高 3,000以上の場合は、監督職員と協議する。




2. 意匠に関係する部分 (正午照明、玄関外水、玄関水栓、EV水栓、上段室、会客室) の取付位置は、監督職員と協議する。

3. 表は原則とし、施工前に監督職員への承諾を要する。



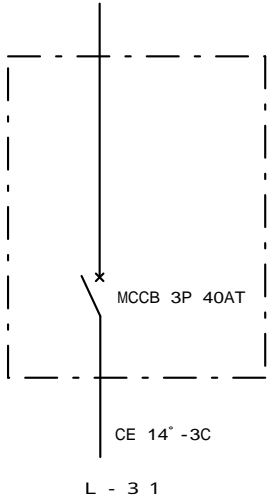
電灯 分電盤 ( L - 3 1 )

分岐ブレーカーは、1Pサイズとする  
化粧板は開閉式とする

Ⓐ	FHF32Wx2 PN 直付	Ⓐ	IL13W ハロゲン 埋込非常用照明
FSS6-322		K1-IRS4-JE13 非常時専用 非常電源内蔵	
			
Ⓑ	LED BL形 直付・壁付 誘導灯 片面		
SH1-FBF20-BL SH1-FSF20-BL		非常電源内蔵	
			

AC-UPS 1 3W 100/200V  
CE 14" -3C

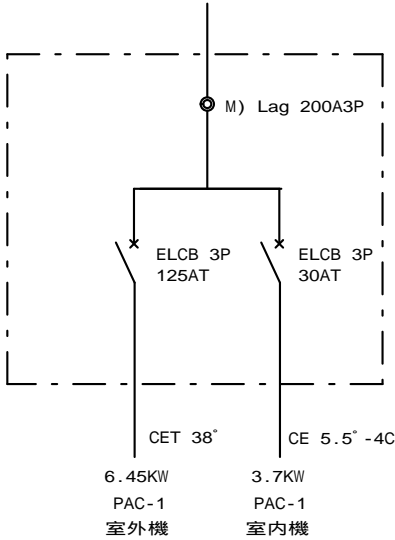
サーバー盤



電灯 開閉器盤 ( S - L 3 )

AC-GC 3 3W200V  
CET 60"

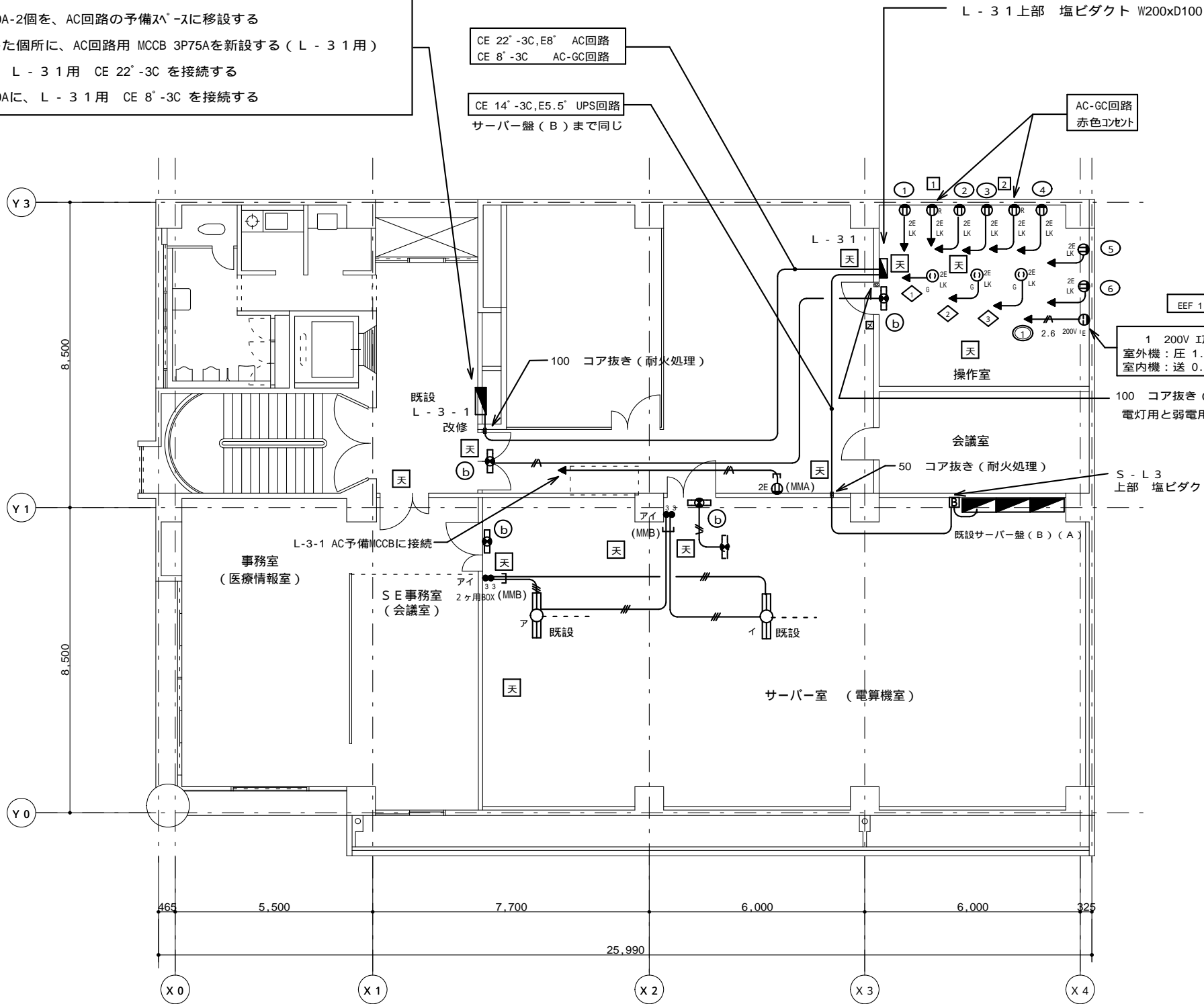
M C - A



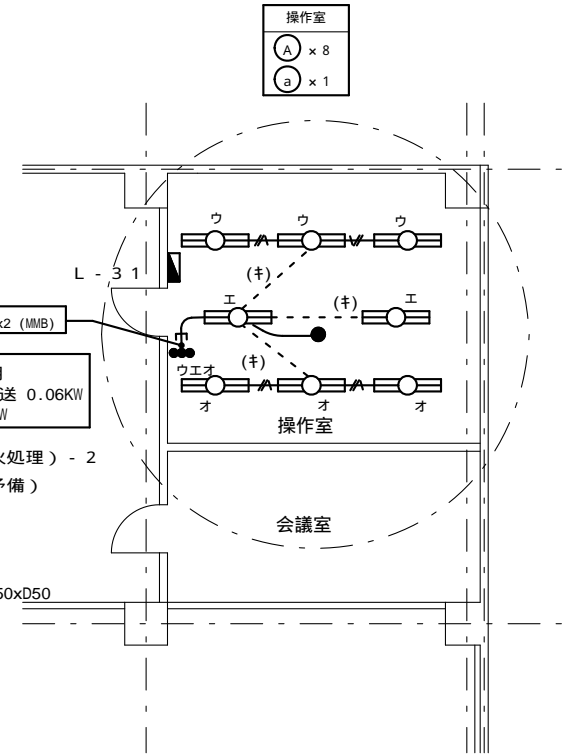
動力 分電盤 ( P - A 3 1 )

既設 L - 3 - 1 改造内容

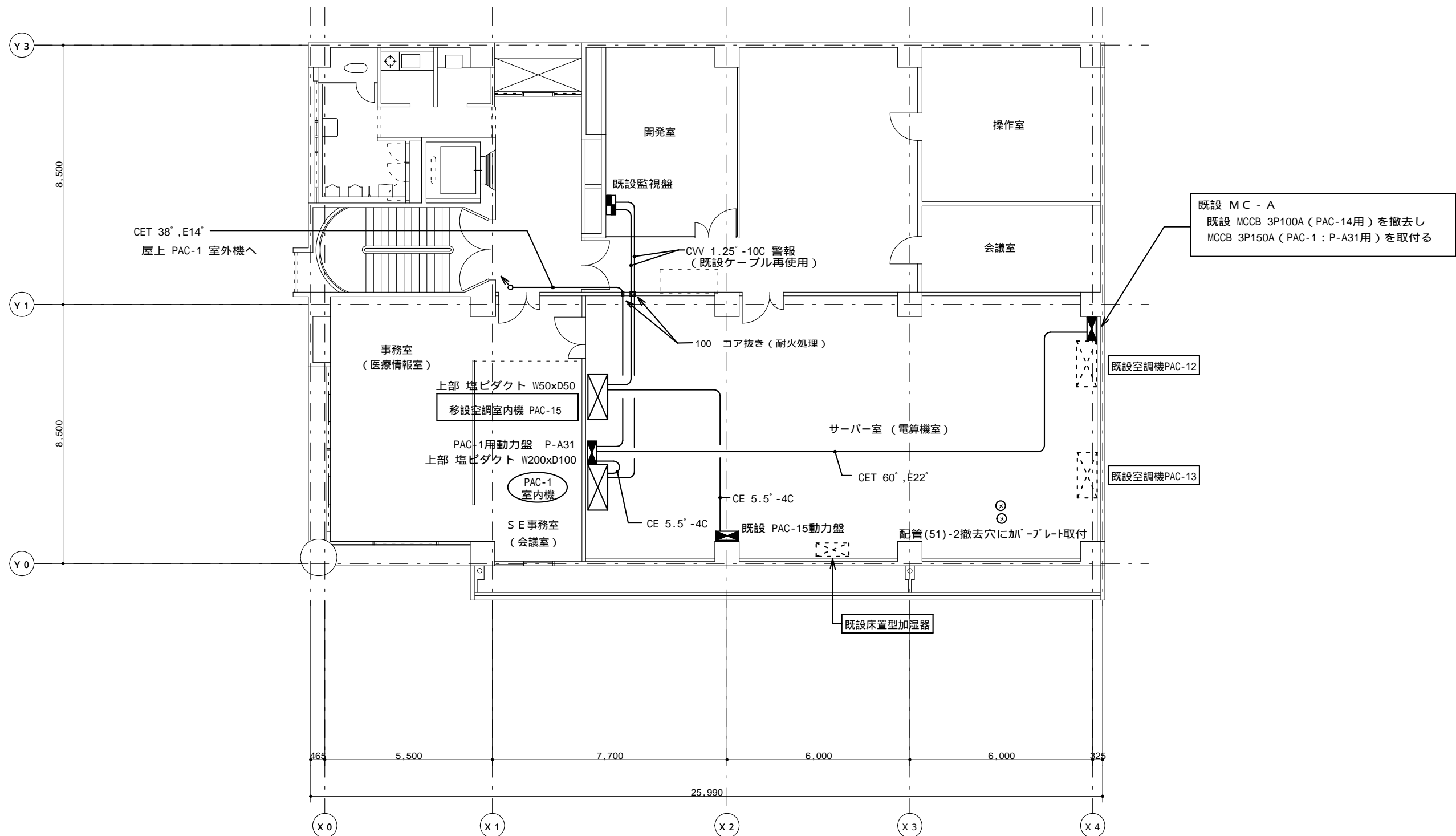
- 1 . AC-GC分岐MCCB 2P20A-2個を、AC回路の予備スペースに移設する
- 2 . 同上MCCB撤去で生じた個所に、AC回路用 MCCB 3P75Aを新設する（ L - 3 1 用）
- 3 . 上記 MCCB 3P75Aに、L - 3 1 用 CE 22"-3C を接続する
- 4 . AC-GC主幹MCCB 3P30Aに、L - 3 1 用 CE 8"-3C を接続する



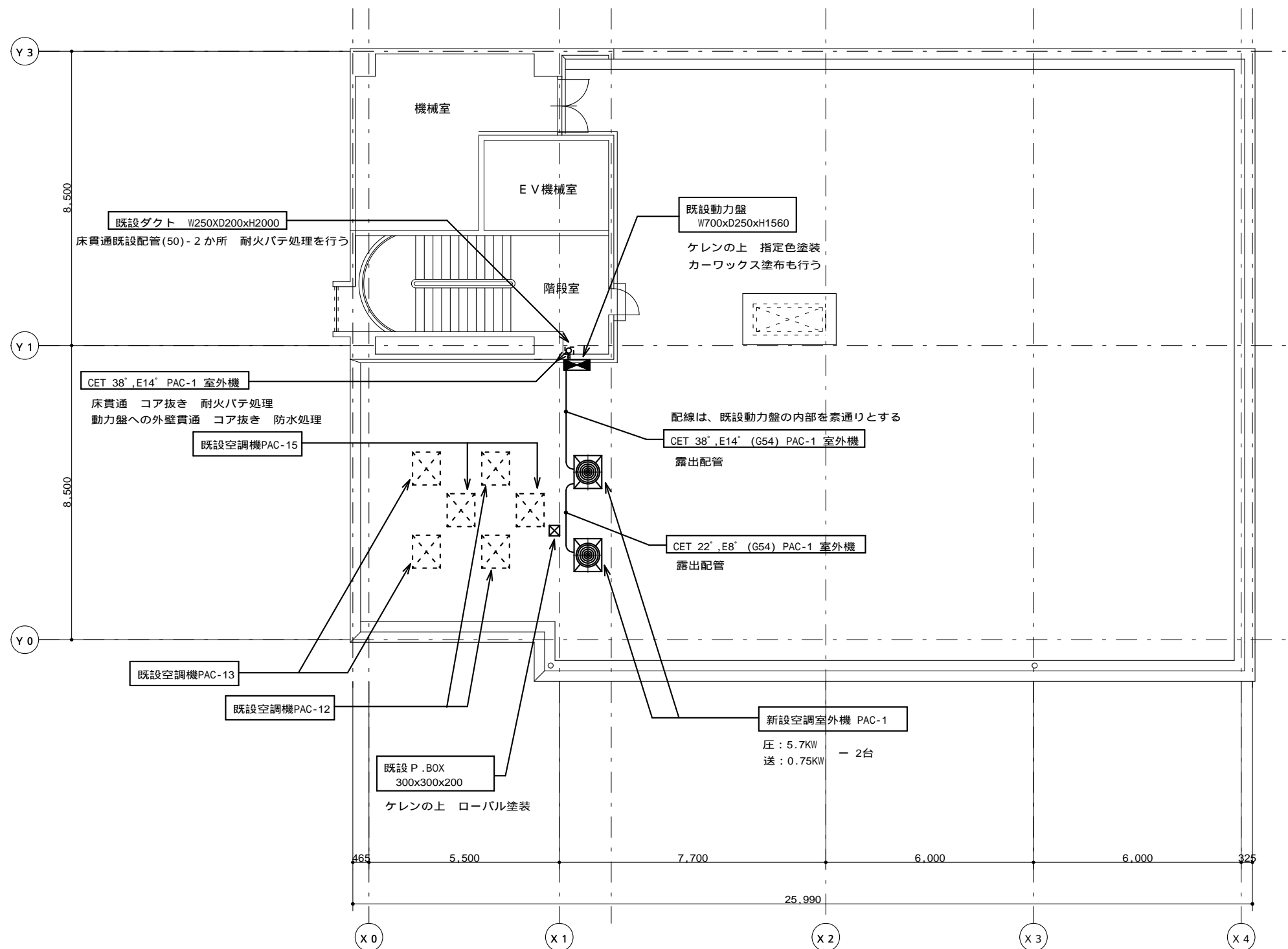
- 1 . 特記無き電灯配線は EM-EEF 1.6-2C とする。
- 2 . コンセント配線は EM-EEF 2.0-3C とする。
- 3 . (MMA)はメタル・レジング A 形、(MMB) は メタル・レジング B 形とする
- 4 . 同上 ボックスは メタル・レジング ボックスを使用する
- 5 . メタル・レジング は ミルキーホワイト色とする（付属品とも）
- 6 . (MMA)はメタル・レジング A 形、(MMB) は メタル・レジング B 形とする
- 7 . 既設幹線に接続については、負荷容量を確認後にコントロール室担当者と打合せを行って接続場所を決定する
- 8 . 同上接続工事は、コントロール室担当者の立会の上で施工する



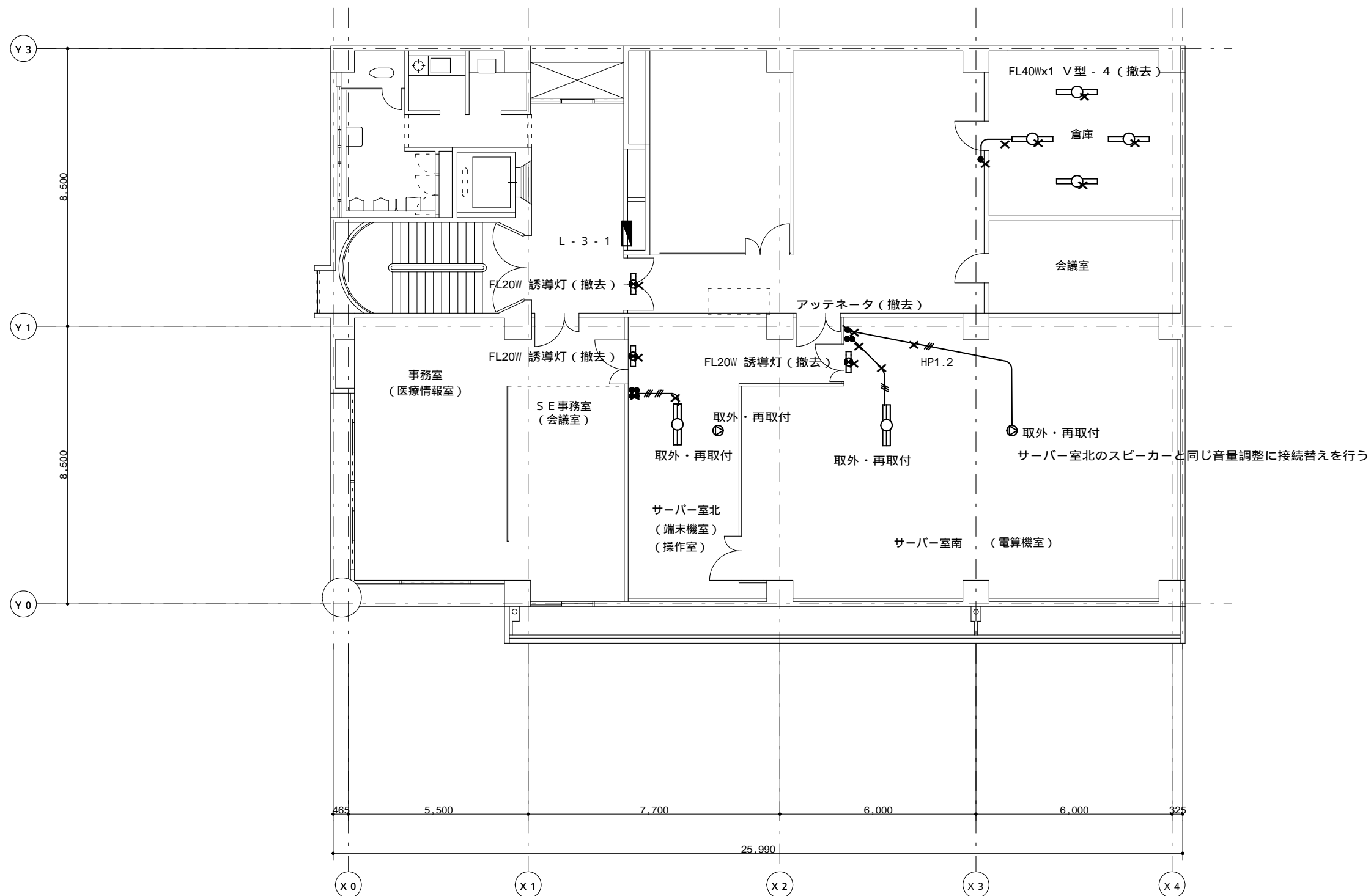
図中記入なき配管配線は、下記による。			
記 号	配 線	壁露出保護	
—	EM-EEF 1.6x2C	(MMA)	
—	EM-EEF 1.6x3C	(MMA)	
—	EM-EEF 1.6x2C -2	(MMB)	
—	EM-EEF 1.6x2C +1.6x3C	(MMB)	
—	EM-EEF 1.6x3C -2	(MMB)	
— 2.6	EM-EEF 2.6x3C	(MMB)	
—	1 線アースを示す	芯線は緑色被覆	
但し コンセント配線は 2.0x3C 立上り保護(MMA) とする			
●	埋込ネ - ムスイッチ		
● <sub>3</sub>	埋込三路ネ - ムスイッチ		
ⓐ <sub>2E</sub>	埋込コンセント 2P15A,接地極付 × 2		
ⓐ <sub>2E</sub> ①	埋込抜け止めコンセント 2P15A,接地極付 × 2 ( 緑色 ) WN1162G1 U P S 回路		
ⓐ <sub>2E</sub>	埋込抜け止めコンセント 2P15A,接地極付 × 2 WN1162		
ⓐ <sub>2E</sub> ①	埋込抜け止めコンセント 2P15A,接地極付 × 2 ( 赤色 ) WN1162R1 AC-GC回路		
○ A 電源タップ 抜け止めコンセント接地極付x6 コード 2 m 付 を 8 個 納入仕様書とする ノイズフィルタ付、マグネット付 WCH47129			
①	A C 回路 100V		
①	A C 回路 200V		
①	A C - G C 回路 100V		
◇	U P S 回路 100V		
天	天井点検口 6 0 0 角 アルミ枠		



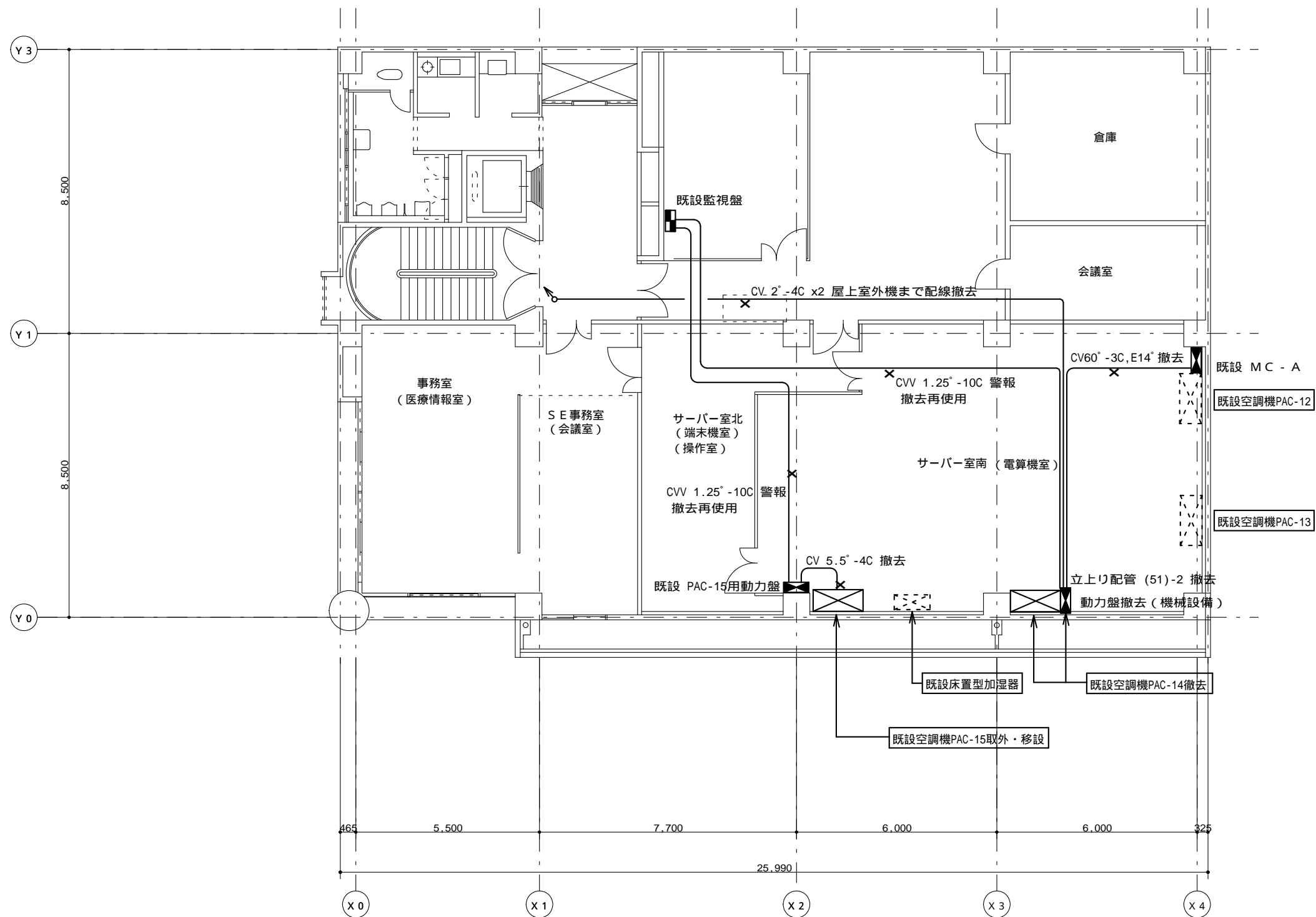
配線は天井内配線とする  
施工については、情報企画室担当者の立会指示による。  
分電盤改造および接続工事については、コントロール室担当者と打合せ指示によること



屋外露出配管は、溶融亜鉛メッキ電線管（丸一鋼管）を使用する  
支持金物等は、ステンレス製または溶融亜鉛メッキ製とする







空調機の撤去に伴い不用となる配線等は図示無くも撤去とする  
空調機の移設に伴い支障となる配線等は図示無くも切り廻しとする

